

東北紅葉狩り山行

八幡平、裏岩手三つ石・小もっこ山

施行日：平成28年10月7日～10月10日

参加者：西田（芳）総リーダー、小山内・相馬リーダー、長沼、永宮、
藤木（た）、藤木（晴）、笹山、酒井、西田（昌）

栗山、鈴木、谷、伊藤、近藤、・・・15名

行程：7日、10日は移動日、8日は雨天、濃霧の為、登山中止、

10月9日（日）網張コース三つ石山（1466m）登山記録

林道ゲート駐車場発；9時01分、登山口；9時40分、

1265m付近小休憩；10時頃、三つ石避難小屋（128

0m）；10時26分、発；10時35分、三つ石山（146

6m）頂上；11時16分、下山；11時17分、三つ石避

難小屋；11時45分、昼食および待機；12時25分まで

登山口着；12時57分、駐車場；13時31分

登り2時間15分、下り1時間34分

10月7日（金）17時30分に大きな荷物を持った13名が
幌別に集合、3台に分乗、一路苦小牧フェリーターミナルに
向かう、19時頃到着、2名と合流、待合を利用して夕食・買
い物等で時間を過ごす。21時15分八戸行きのシルバークイ
ーンに20時15分頃乗船する。早くも天気祭り。

和室簡易指定合部屋に15人が入室。確保。



西田総リーダーより雨天時の新しい計画、行程表が提示され
明日以降、男性新しい案で山行をすることに決定。

用意周到、雨天時の新しい代替案を作成してくれたことに驚
きと感謝の念で一杯です。流石、西田リーダー有難う、苦勞
を掛けます。男性陣車座になり消灯まで歓談・天気祭りで気
勢を上げる。22時就寝。

10月8日（土）、願いも空しく一日雨の予報、八戸に4時
45分に到着、十和田山岳会の田原さんが中型バスで出迎え
て呉れた、毎度お世話になります、ザック・ボストンバック
等を後部座席に積み込み5時に高速ICに向かう、



八戸高速道折爪Pで朝食などを購入する。

東北道松尾八幡平で7時頃下りる。

県道45号線、23号線（アスピーテライン）を八幡平に向け
バスが登る、標高が上がるごとに鮮やかな赤・黄色・橙色と
紅葉の競演で来た甲斐があった。

960m付近のトイレに立ち寄。



ガスが濃い、

7時40分頃茶臼岳登山口（1360m）バス停に到着する
もと雨ガスで視界が効かない、登山を断念、八幡平頂上駐車
場に向かう。ガス・雨の中7時45分頃黒谷地湿原（144
6m）に到着するも視界10m未満、八幡平頂上駐車場（1
541m）に7時50分頃到着、風も出てきて、視界悪く、
雨も少し強くなり、リーダー会議で残念ながら八幡平登山を
中止と決める。一日観光です。



田沢湖経由で角館に向かう、国道341号線を南下、玉川温泉
のそばを通り、大きな宝仙湖の脇を通り、9時40分、田沢
湖の東湖畔に到着。相変わらず雨天。

日本一の深度を誇る円形の湖だ。



湖畔を半周して、辰子像をカメラに収め、角館に向かう。



11時頃角館の大きな駐車場に到着、雨天にも拘わらず観光

客が多い、川沿いの桜は見事だ相です、秋二回目。

武家屋敷は今回パス。並木も見事。



樺細工伝承館に入館、細工物を鑑賞。見事な陶器と細工物



昼時になったので百穂庵でそば、稲庭うどんを食べる、そばは延びており値段も高く不評を買う。ペルシャじゅうたんの画が多数展示されており1200円は入館料金込みか、油絵と紛う出来栄えで見事な絵画だ。



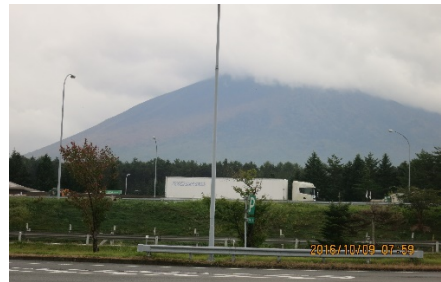
13時05分に角館を出発、国道46号線、県道16号線で盛岡滝沢へ、国道282号線で北上、西根駐車場で休憩、松尾八幡平で高速東北道に乗り、鹿角八幡平で降り、国道282号線を少し南下すると右手に直ぐ、今夜の宿五ノ宮温泉があった。霊山五ノ宮嶽(1115m)の麓に湧出する乳白色の硫黄泉で大変温まる癒しの温泉です、良く探してくれました、有難う。16時05分到着



入室後、速大浴場に入浴、乳白色の硫黄泉で大変気持ちの良い風呂だ。夕食も豪勢で食べきれない位量も多く、懐かしい鮎の姿焼きも頭から全部美味しく頂いた。ご馳走様でした。夕食御部屋に集まり、総リーダーから明日の行動の説明があり遅くまで酒を酌み交わせ・談笑する。

10月9日(日)、起床5時30分、朝食後昼弁当を貰い

7時15分、お世話に成った宿を後に、三つ石山網張コースに向かう。鹿角八幡平より高速道、7時55分岩手山SAで休憩頂上は雲の中、晴れそうもない、残念だ。



8時10分、高速道を滝沢で降りる。

県道278、219で網張温泉、スキー場に向かう。

道路わきは牧草畑、松林が広がる。スキー場より林道を辿り1000m代の駐車場に8時42分到着。数十代の車で満車状態。



登山支度を整え、準備体操後、9時05分A班を先頭に登山開始、黄色のぶなの大木が舗装林道の両脇を飾り、遠くの山は紅葉が盛りだ。



ゆっくり登ろうよ、足取りも軽く。



林道が終わり、9時40分登山口に到着。



さあー、此処から本格的な登山開始、心して登ろう。

周囲も色着きキレイ、癒される。

ハイ“ポーズ、少し遠いね、ごめん。



登山道は処所ぬかるみがあり、気配りしながら足を運ぶ。
三つ石山荘まで1 kmまで来た、紅葉のトンネルだ、すごい



1 2 6 5 m付近で休憩を採る。

紅葉原の向こうに三つ石山が望めた、サー元気でゆー。



1 0 時 2 8 分頃前面に沼を控えた三つ石避難小屋に到着、トイレもあり二階建ての立派な避難小屋だ。



1 0 時 2 8 分避難小屋を後に木道を歩き、登りに懸かる。
大松倉山（1 4 0 8 m）の紅葉とその先に岩手山の雄峰が見える筈だが残念ながら雲の中、恥ずかしいのかね。



傾斜がきつく成って来た、石屑の道を足元を確かめながら慎重に足を運ぶ。周囲は紅葉が進んでいて心が和む。
季節は北海道とあまり変らないのか、標高が高いからか？



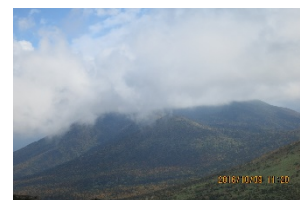
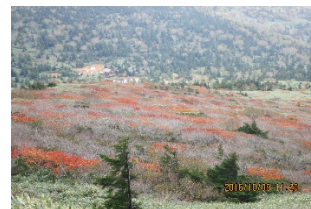
手前の岩頭にやって来た、風が強い、帽子を飛ばされ相、身体も揺れる。



強風の中、石屑を踏みしめながら1 1 時 1 6 分三つ石山（1 4 6 6 m）頂上に立つ、お疲れさん。



速下山、下方の俯瞰は紅葉の大展望、岩手山は望めず



1 1 時 4 5 分、避難小屋に帰着、ベランダで昼食を摂る
終わるころ雨が降り出し小屋の内部に避難する。
小屋内は満員、雨具のズボンを着け、1 2 時 2 5 分下山する
道はぬかるみ滑り・転倒注意で慎重に足を運ぶ。
登山口1 2 時 5 7 分、足取りも軽くブナの大木を感嘆に眺めながら舗装林道を下る、途中の小川で靴の泥を落とし、駐車場に1 3 時 3 1 分に帰着。皆さんお疲れさん。

1 3 時 5 2 分駐車場を後に、網張ビジターセンターにて入浴、何よりのご馳走です。小岩井農場に立ち寄りお土産などゲット、盛岡インターより高速で八戸へ、八食で夕食弁当を買い、田原運転者さんに感謝します。2 2 時の苫小牧行きヘリーに乗船帰路に就く。4 日間リーダー、会計さん、運転者さん有難う。感謝します。
記：近藤

